

平成27年度第2回広島県道徳教育研究協議会(全体報告会)

【研究報告Ⅱ】

分科会⑤

児童生徒の発達の段階や実態に応じた道徳の教材開発の工夫



発表者：大竹市立玖波小学校 教諭 久保 恵子
運営者：広島県立河内高等学校 教諭 川原 栄治

説明の流れ

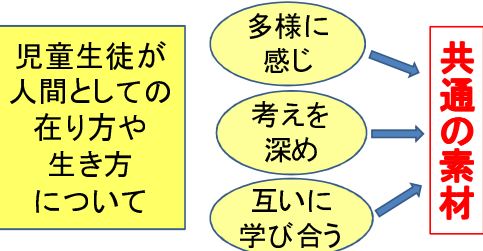
- 1 教材の開発と活用の創意工夫
- 2 読み物資料の作成手順
～大竹市立玖波小学校の実践事例を通して～

学習指導要領「第3章 特別の教科 道徳」
「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の3

(1) 児童生徒の発達の段階や特性、地域の実情(事情)等を考慮し、**多様な教材の活用**に努めること。特に、**生命の尊厳**、(社会参画)、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、**情報化への対応等の現代的な課題**などを題材とし、児童生徒が**問題意識をもって多面的・多角的に考えたり、感動を覚えたりするような充実した教材の開発や活用を行うこと。**

道徳科に生かす教材

道徳的価値の自覚を深めていくための**手掛かり**



道徳科に生かす教材

備えていなければならない条件

- ア 児童生徒の**発達の段階**に即し、**ねらいを達成**するのにふさわしいものであること。
- イ **人間尊重の精神**にかなうもの
悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、児童生徒が**深く考える**ことができるもの
人間として**よりよく生きる**喜びや勇気を与えられるもの
- ウ 多様な見方や考え方のできる事柄を取り扱う場合には、**特定の見方や考え方に偏った取扱い**がなされて**いない**ものであること。

小学校・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編

教材の開発と活用の創意工夫

- 【**生命の尊厳**】
- 【**社会参画**】(中学校のみ)
- 【**自然**】
- 【**伝統と文化**】
- 【**先人の伝記**】
- 【**スポーツ**】
- 【**情報化への対応等の現代的な課題**】

小学校・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編

教材の開発と活用の創意工夫 **それぞれの分野の特性**

【生命の尊厳】 () 中学校

・生命ある全てのものをかけがえのないものとして尊重し、大切にすることであり、児童生徒が発達の段階に応じて生命の尊厳について(人間としての生き方と関わらせながら)考えられるようにする。

【社会参画】 * 中学校のみ

・「個」から「公」に視点を広げていく背景として「他者」への思いやりの心に触れたもの

小学校・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編

教材の開発と活用の創意工夫 **それぞれの分野の特性**

【自然】

・自然の美しさや偉大さ、不思議さなど、感性に訴えることができる。(人間の力を超えたものを謙虚に受け止める心を育てるもの)

【伝統と文化】

・有形無形の美しさに国や郷土への誇り、愛情を感じさせることができる。

【先人の伝記】

・多様な生き方が織り込まれ、生きる勇気や知恵などを感じることができる。

・人間としての弱さを吐露する姿などにも接し、生きることの魅力や意味の深さについて考えを深めることができる。

小学校・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編

教材の開発と活用の創意工夫 **それぞれの分野の特性**

【スポーツ】

・オリンピックやパラリンピックなど、世界を舞台に活躍している競技者(アスリート)やそれを支える人々の公正な態度や礼儀、連帯精神、チャレンジ精神や力強い生き方、苦悩などに触れて、道徳的価値の理解やそれに基づいた自己を見つめる学習を深めることができる。

小学校・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編

教材の開発と活用の創意工夫 **それぞれの分野の特性**

【情報化への対応等の現代的な課題等】

・我が国が抱える課題として、発達の段階に応じて取り上げることが考えられる。その場合には、単に情報機器の操作や活用など、その注意点を扱うのではなく、活用するのは人間であるからこそ、例えば「節度、節制」や「規則の尊重」(「自主、自律、自由と責任」)など関わりのある道徳的価値について考えを深めることが大切である。

小学校・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編

教材の開発と活用の創意工夫

教材を発掘するための素材群

- ・伝記、名作、古典、伝説、随想、民話、劇、詩歌、論説、歌、漫画
- ・**地域の祭り、地域行事、年中行事、産業、文化、遺産、風物、史跡、名所、学校の歴史**
- ・新聞や雑誌などの報道、映画やテレビ番組などの映像(ビデオ等)、写真、情報通信などの情報
- ・学校行事などの体験活動や子どもの生活のできごと
- ・教師自身の体験や感動的なできごと など

「広島県教育委員会 地域教材開発の手引」より

教材の開発と活用の創意工夫

地域を素材とした教材の開発

・道徳科においても、主たる教材として教科用図書を使用しなければならないことは言うまでもないが、各地域に根ざした地域教材など、多様な教材を併せて活用することが重要となる。

小学校・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編

教材の開発と活用の創意工夫

地域を素材とした教材の開発

・様々な題材について郷土の特色が活かせる教材は、児童生徒にとって特に身近なものに感じられ、教材に親しみながら、ねらいとする道徳的価値について考えを深めることができる。

地域教材の開発や活用にも努めることが望ましい。

小学校・中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編

教材の開発と活用の創意工夫

教材の**開発**に当たっては、道徳の時間の特質を生かした展開が可能となるよう、**活用を視野に入れて工夫**することが求められる。

教材活用の創意工夫の例

- ・地域の人を招いて協力しながら学習を進める
- ・情報機器を生かして学習する
- ・疑似体験活動を取り込んで学習する
- ・補助的な教材を組み合わせることでそれらの多様な性格を生かし合う

(「私たちの道徳」の適切な活用が望まれる。)

「広島県教育委員会 地域教材開発の手引」より

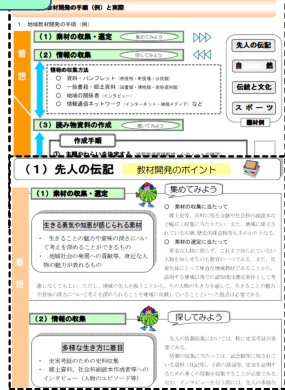
教材の開発と活用の創意工夫

地域教材開発の手引

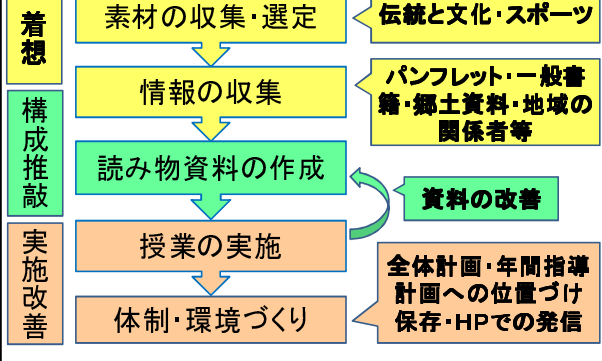


平成22年3月

広島県道徳教育指導資料作成委員会



教材開発の手順



実践事例

「みんなの広場」

大竹市立玖波小学校
第4学年
4-(2)
勤労・奉仕



【みんなの広場】
大竹市立玖波小学校の4年生が、地域の清掃活動を行いました。児童たちは、元気な声で挨拶を交わしながら、ゴミを拾っていました。地域をきれいに保つことは、みんなの責任です。これからも、地域を大切にしていきたいです。

「みんなの広場」

実践事例

素材の収集・選定



毎年2回、
花の植え
替えを受け継ぐ

中学生の作文
「小学生が体操服のすそに、石をたくさん集め、運んでいる姿に感動」

実感を伴って、道徳的価値について考えられるのではないかと

読み物資料の作成手順

- ① 主題やねらいを決定
- ② 対象となる学年の発達の段階や特性を把握
- ③ 登場人物や状況を設定
- ④ 中心場面(山場)を決定, 大まかな起承転結を設定
- ⑤ 文章化
- ⑥ 不要な文章や文言を削除

読み物資料の作成手順

- ① 主題やねらい
- ② 発達の段階や特性を把握
- ③ 登場人物や状況
- ④ 中心場面 起承転結
- ⑤ 文章化
- ⑥ 不要な文章等 削除

働く喜び

「働く」ことの大切さ

児童の実態

- ・真面目に頑張る
- ・主体的に考えて行動することが十分でない

みんなのために働こう

主題
「みんなのために働く」

4-(2)
「勤労」

働くことの喜びや大切さを知り、みんなのために働こうとする態度を育てる

実践事例

第4学年

- ① 主題やねらい
- ② 発達の段階や特性を把握
- ③ 登場人物や状況
- ④ 中心場面 起承転結
- ⑤ 文章化
- ⑥ 不要な文章等 削除

【発達の段階の特徴】
地域の施設や行事等に興味
自分の行為の善悪について、
反省しながら把握

【重視すべき課題】
集団における役割の自覚や主
体的な責任意識の育成

実践事例

- ① 主題やねらい
- ② 発達の段階や特性を把握
- ③ 登場人物や状況
- ④ 中心場面 起承転結
- ⑤ 文章化
- ⑥ 不要な文章等 削除

主人公

小学4年生の「ぼく」

登場人物

小学生の友達
中学生
地域の人

状況

広場作り

共感しやすい

価値について主人公をゆさぶる人物

イメージしやすい

実践事例

- ① 主題やねらい
- ② 発達の段階や特性を把握
- ③ 登場人物や状況
- ④ 中心場面 起承転結
- ⑤ 文章化
- ⑥ 不要な文章等 削除

起

やる気いっぱい始めた

承

やる気がなくなってくる

転

「もう一度、頑張ろう」

結

やりきる
みんなで作り上げて喜ぶ
充実感を感じる

実践事例

大切なこと

① わかりやすい文章

② 立ち止まって考えさせる場面, しかけ

③ 書き過ぎない

